



## 2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月10日

上場会社名 JUKI株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6440 URL https://www.juki.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長○○○ (氏名)内梨 晋介  
 問合せ先責任者 (役職名)コーポレートオフィサー財務経理部長 (氏名)南 大造 (TEL)042-357-2211  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	21,883	29.8	326	—	205	—	141	—
2020年12月期第1四半期	16,860	△34.5	△1,472	—	△1,732	—	△1,836	—

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 1,649百万円 (—%) 2020年12月期第1四半期 △2,520百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	4.84	—
2020年12月期第1四半期	△62.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	113,764	32,431	28.2
2020年12月期	110,230	31,368	28.2

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 32,098百万円 2020年12月期 31,033百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	47,000	54.1	1,300	—	1,200	—	800	—	27.31
通期	100,000	42.0	3,100	—	2,800	—	2,000	—	68.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2021年2月12日公表の「2020年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」では、2021年12月期第2四半期累計の連結業績予想を行っていませんでしたが、今回上記のとおりいたしました。なお、通期については変更ありません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名)、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年12月期1Q	29,874,179株	2020年12月期	29,874,179株
2021年12月期1Q	578,915株	2020年12月期	578,890株
2021年12月期1Q	29,295,277株	2020年12月期1Q	29,295,367株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業を取り巻く経済環境、主要市場における政治情勢、為替相場の変動などが含まれます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における世界経済は、新型コロナ感染拡大の影響が継続しているものの、いち早く回復した中国経済の拡大や欧米など先進国での経済活動の持ち直しにより徐々に回復しつつあります。

当社を取り巻く事業環境は、一部国・地域で新型コロナ感染拡大の影響はあるものの、5Gなどに牽引された半導体や自動車関連等の需要拡大により中国等を中心に設備投資需要の回復が進み、またお客様のサプライチェーン分断への対応（生産地分散化）など、当社のビジネスチャンスに繋がる動きも出始めており、前年同期と比較すると大幅に改善しております。

また、AI/IoT/5G等技術革新の加速、市場/顧客の変化などニューノーマルな環境への対応や“持続可能な開発目標(SDGs)”への取り組み強化が求められる中、当社は2020年から2022年までを計画期間とする中期経営計画フェーズIIを見直し、付加価値構造改革及びコスト構造改革を強力に推進し、併せて6つの変革(6X)で事業戦略と体制戦略の変革を強力に推し進めることで、成長軌道への回帰と質的変換に取り組んでおります。

※6つの変革=①成長性の期待できる市場とお客様の開拓、②収益力をアップする事業領域の拡大、③“持続可能な開発目標(SDGs)に向けた”経営の実現、④先端技術の活用によるイノベーティブな技術領域の拡大、⑤経営の5S(Simple, Slim, Speedy, Seamless, Smart)を軸とした生産体制及び管理(間接)業務体制の構築、⑥財務体質強化による自己資本強化と資産効率向上

当第1四半期は、上記経済環境の活性化を捉え、各事業において市場回復期の需要取り込みや成長分野におけるシェア拡大など全社的に営業活動を展開した結果、売上高は218億8千3百万円(対前年比29.8%増)となりました。

利益面につきましては、価格戦略等による利益抑制要因はあったものの、売上の増加及び工場稼働率が向上したことに加え、コスト構造改革で抑制した固定費削減の継続に努めた結果、営業利益は3億2千6百万円(前年同期は14億7千2百万円の損失)、経常利益は2億5百万円(前年同期は17億3千2百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億4千1百万円(前年同期は18億3千6百万円の損失)となりました。

第2四半期は、一部国・地域で新型コロナ感染が引き続き拡大しておりますが、5Gなどに牽引された半導体やロボット等の力強い需要拡大や、各国の経済対策等による経済の活性化、新興国市場の拡大などを捉えた売上の着実な取り込みと工場稼働率の向上を実現するとともに、コスト構造改革を更に深掘りし、売上・利益の向上を図ってまいります。

#### (主なセグメント別の概況)

##### ①縫製機器&システム事業

工業用ミシンの売上高は、中国、欧米等において需要回復期の特徴である本縫等基本機種を中心に回復し、家庭用ミシンの売上高も新型コロナ感染拡大に伴う巣ごもり需要拡大に対応したことにより、日本、欧米の各市場で増加しました。その結果、縫製機器&システム事業全体の売上高は136億2千1百万円(対前年比27.8%増)となりました。利益面においては、売上の増加及び工場稼働率の向上並びにコスト削減の継続により、セグメント利益(経常利益)は2億4千7百万円(前年同期は9億2千2百万円の損失)となりました。

第2四半期は、需要回復が本格化する中で、新興国での需要回復の取り込みやスマートソリューション提案等付加価値の高い事業領域の拡大を推進してまいります。

## ②産業機器&システム事業

産業装置では、一部電子部品調達難等による出荷への影響があったものの、中国等を中心に5G関連等の設備投資需要を捉え、高速機を中心に戦略的な拡販を進め、対前年比73.6%増と売上が回復しました。一方、国内を中心とした受託加工等のグループ事業では売上の伸び悩みもあり、この結果、産業機器&システム事業全体の売上高は82億8百万円(対前年比33.7%増)となりました。利益面においては、売上の増加及び工場稼働率の向上並びにコスト削減の継続により、セグメント利益(経常利益)は1億9千7百万円(前年同期は3億8千4百万円の損失)となりました。

第2四半期は、ライン提案による高速機需要の取り込みを強化するとともに、非SMT分野等付加価値の高い事業領域の拡大をより強力で推進することで、売上・利益の向上を図ってまいります。

## (2) 財政状態に関する説明

### 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、売上増加に伴い売掛金やたな卸資産が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ35億3千3百万円増加して1,137億6千4百万円となりました。負債は、買掛金が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ24億7千万円増加して813億3千2百万円となりました。純資産は、配当金支払により利益剰余金が減少する一方で、為替換算調整勘定のマイナス額が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ10億6千3百万円増加して324億3千1百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、第1四半期の連結業績実績及び第2四半期の業績見通し等を勘案し、売上高470億円、営業利益13億円、経常利益12億円、親会社株主に帰属する四半期純利益8億円としております。通期の業績予想につきましては、前回予想値からの変更はありません。

詳細は、本日公表の「業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,831	11,602
受取手形及び売掛金	23,326	25,232
たな卸資産	36,709	40,029
その他	2,653	2,577
貸倒引当金	△530	△409
流動資産合計	75,990	79,030
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,213	11,103
土地	6,322	6,322
その他(純額)	5,948	5,891
有形固定資産合計	23,484	23,316
無形固定資産		
投資その他の資産	1,922	1,945
その他	10,172	10,883
貸倒引当金	△1,338	△1,413
投資その他の資産合計	8,833	9,470
固定資産合計	34,240	34,733
資産合計	110,230	113,764
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,124	9,521
電子記録債務	3,004	4,047
短期借入金	34,053	33,379
未払法人税等	337	340
賞与引当金	29	321
その他	5,403	6,321
流動負債合計	49,952	53,930
固定負債		
長期借入金	21,989	20,711
役員退職慰労引当金	63	24
退職給付に係る負債	5,253	5,287
その他	1,603	1,378
固定負債合計	28,909	27,401
負債合計	78,861	81,332

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,044	18,044
資本剰余金	1,990	1,990
利益剰余金	15,073	14,629
自己株式	△607	△607
株主資本合計	34,501	34,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	478	579
為替換算調整勘定	△4,063	△2,658
退職給付に係る調整累計額	116	120
その他の包括利益累計額合計	△3,468	△1,959
非支配株主持分	335	332
純資産合計	31,368	32,431
負債純資産合計	110,230	113,764

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	16,860	21,883
売上原価	12,742	16,271
売上総利益	4,117	5,612
販売費及び一般管理費	5,590	5,285
営業利益又は営業損失(△)	△1,472	326
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	61	62
貸倒引当金戻入益	2	17
その他	142	280
営業外収益合計	220	375
営業外費用		
支払利息	199	163
為替差損	249	312
その他	32	20
営業外費用合計	480	495
経常利益又は経常損失(△)	△1,732	205
特別利益		
固定資産売却益	27	3
特別利益合計	27	3
特別損失		
固定資産除売却損	4	6
投資有価証券評価損	47	-
特別損失合計	52	6
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△1,757	201
法人税等	99	62
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,856	139
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△20	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,836	141



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,856	139
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△134	100
為替換算調整勘定	△523	1,405
退職給付に係る調整額	△5	3
その他の包括利益合計	△663	1,510
四半期包括利益	△2,520	1,649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,492	1,651
非支配株主に係る四半期包括利益	△27	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法等を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルスの感染拡大による影響に関して、現時点においてこれらの影響を合理的に見積ることは困難ですが、外部の情報等を踏まえ新型コロナウイルスの感染拡大による影響が2021年12月期の一定期間まで継続するものと仮定して、固定資産の減損判定及び繰延税金資産の回収可能性等に関する会計上の見積りを行っております。

なお、この仮定は不確実性が高く、将来における実績値に基づく結果がこれらの見積り及び仮定と異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 &システム 事業	産業機器 &システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,662	6,140	16,802	57	16,860	—	16,860
セグメント間の内部 売上高又は振替高	206	23	229	105	335	△335	—
計	10,868	6,163	17,032	163	17,196	△335	16,860
セグメント利益 又は損失(△)	△922	△384	△1,307	19	△1,287	△445	△1,732

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△445百万円には、セグメント間取引消去55百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益△500百万円が含まれております。全社損益は、主に各報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用及び各報告セグメントに帰属しない為替差損益等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 &システム 事業	産業機器 &システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,621	8,208	21,829	54	21,883	—	21,883
セグメント間の内部 売上高又は振替高	146	25	172	94	267	△267	—
計	13,767	8,234	22,002	148	22,150	△267	21,883
セグメント利益	247	197	445	17	462	△257	205

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額△257百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益△257百万円が含まれております。全社損益は、主に各報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用及び各報告セグメントに帰属しない為替差損益等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。